Ⅰ．工 事 概 要

1 工 事 場 所　富山県射水市黒河５１８０

2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別 表 第 一	備 考
公立大学法人　富山県立大学					

3 工 事 種 目（○印をつけたものを適用する。）

⊙ 電 灯 設 備　⊙ 動 力 設 備　・ 雷保護設備　・ 受変電設備
・ 電力貯蔵設備　・ 発 電 設 備　⊙ 構内交換設備　⊙ 情報通信網設備
・ 映像音響設備　⊙ 拡 声 設 備　・ 誘導支援設備　・ テレビ共同受信設備
・ 監視カメラ設備　・ 防犯・入退室管理設備　⊙ 火災報知設備　・ 構内配電・通信線路

Ⅱ．工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成28年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)平成28年版」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成28年版」による。

(2) 建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を適用する。

2. 特 記 仕 様

(1) 章及び項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

章	項　目	特　記　事　項
⊙一般共通事項1	一般共通事項の適用	・ 本仕様書の一般共通事項１を適用する。 ⊙（ ⊙ 建築　・ 給排水衛生設備　・ 空調設備 ）特記仕様書の一般共通事項１を適用する。
	①工事実績情報の登録 ②下請関係の適正化 ③個人情報の取扱いについて ④環境への配慮	⊙ 適用する。 本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-48個人情報の取扱い特記事項による。 1 使用する機材等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。 2 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗剤は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、（ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ホルムアルデヒドの放散量 ／ 該当する建築材料 規制対象外 ／ ①建築基準法施工令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施工令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 第三種 ／ ①建築基準法施工令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施工令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑤材料・機材の品質等	1 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2 下記に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 (1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。 対象機材等 （・　　・　　・　　・　　）
	⑥地場産品の優先使用等	3 使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、標準仕様書第1編1.4.2の品質及び性能を有することを証明できる資料の提出を省略することができる。 1 地場産品の優先使用 受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品(建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社・本店を置く取扱業者から調達したものをいう）を優先使用するものとする。 2 県内企業の優先選定等 受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。 3 不採用調書の提出 受注者は、工事の施工に関する下請契約において富山県内に本社・本店を置くものの中から選定しない場合又は工事に使用する資材等について県内地場産品を使用しない場合は、あらかじめ「下請契約における県内企業及び県内地場産品の不採用調書」を監督職員に提出しなければならない。
	⑦発生材の処理等	発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め受注者自らの責任において適正に処理するものとする。 建設リサイクル法対象工事（ 契約額１億円以上(税込) ） ⊙ 再資源利用計画書等の作成及び提出 ⊙ 運搬、処分委託契約書等し及び許可証写しの提出 ⊙ マニフェスト管理一覧表の提出
	⑧電気保安技術者 ⑨監督職員事務所 ⑩工事用電力・水その他 ⑪工事用仮設物 ⑫施 工 機 械	電気保安技術者を工事現場に　・ おく　・ おかない ・ 設けない　・ 設ける 本工事に必要な工事用電力、水、燃料及び諸手続き等の費用は受注者の負担とする。 構内につくることが　・ できる　・ できない 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
	⑬現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。 (1)契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 (2)工事の全部の施工を一時中止している期間 (3)上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
	⑭主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合については、専任を要しない。 (1)請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間 (2)自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間 (3)工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間 (4) (1)又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間 (5)橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
	⑮安全教育・訓練の実施	労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保）
	⑯調査・試験に対する協力	公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-13）
	⑰工事特性・創意工夫・社会性等の実施	受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成までに「富山県請負工事成績評定要領」第4第7項に定める様式により提出することができる。
	⑱暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置	受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
	⑲低入札となった場合における技術者の増員等	1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。 (1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合 専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者になり得る資格を有する者を１人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と３ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。 (2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合 同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。 2 １の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。 3 工事の品質を確保するため、特記仕様書に示される施工に関する試験基準を２倍の頻度をもって実施し、品質管理を行うものとする。 本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもって速やかに再精算し、変更するものとする。 工事番号：　　工事名：
	20 近接して工事を発注する場合の取扱いについて	
	21 総合評価方式	1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。 2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。 3 なお、上記１、２を履行できない場合及び、受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。 ・ 本工事は「登録基幹技能者の配置」を活用した試行工事であり、受注者は、下記工種において登録基幹技能者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録者情報や配置予定期間、作業内容等を発注者に報告することと、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に基づき工事成績の減点をすることがある。 対象工種　・○○工　・□□工　・△△工
	㉒提 出 図 書 等	標準仕様書によるほか次による。 (1) 設計図の製本 (2) 工事写真 デジタルカメラ(130万～300万画素)による撮影 着工前 ⊙ L版程度(3枚/頁) 1部 ・ サムネイル版(3x4枚/頁)　部 施工中 ・ L版程度(3枚/頁)　部 ⊙ サムネイル版(3x4枚/頁) 1部 完成時 ⊙ L版程度(3枚/頁) 1部 ・ キャビネ版　部 (3) 機材の仕様 (4) その他 (5) 完成時の図書 ⊙ 完成図（設計図及び施工図を黒表紙に製本したもの）⊙ 原図版　部 ・ 縮小版　部 ⊙ 完成図CADデータ ⊙ 保全に関する資料 ㉓電 子 納 品　⊙ 電子納品対象工事（以下に記す書類を電子納品する。） ⊙ 工事写真 ・ 施工計画書 ・ 完成図(CADデータ) ・ 参考図(ラスターデータ)
⊙一般共通事項2	①適 用 基 準 等	⊙ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(平成24年版)」及び「工事写真の撮り方-建築設備編-(改訂第3版)」 ⊙ 富山県電子納品運用ガイドライン(案)〔建築工事編〕（平成22年４月（平成26年10月一部改定））
	②施 工 条 件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。
	③施 工 従 事 者	一般用電気工作物及び自家用電気工作物においては、法令で定める電気工事士とする。なお、需要設備500kW以上の自家用電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
	4 仮 設 設 備	仮設備期間（ ・ 図示　・　　）
		仮設備項目（ ・ 受変電設備　・ 発電設備　・　　）
	5 認定リサイクル製品の使用	・ 下記の品目については、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」において優先利用グループに区分されている製品を使用する。 工 種 ／ 品 目 ／ 規 格 ※ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品(新材で製造された製品)へ変更できるものとする。 ・「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、バイロット工事として下記の製品を使用する。 工 種 ／ 品 目 ／ 規 格 ／ 製品名
	6 建築工事との取合	工事区分表によるほか、次による。
	(1) 開口部補強筋	補強を要する鉄筋コンクリート壁体(梁、壁、床)の貫通スリーブ補強筋は（・別途　・本工事）とする。 壁、床貫通の仮枠(盤類、ダクト、吹出口、大便器、換気扇等)の補強筋は（・別途　・本工事）とする。
	(2) 機器の基礎	屋上基礎（・別途　・本工事）　屋内基礎（・別途　・本工事）　屋外基礎（・別途　・本工事）
	7 足場、さん橋類	・ 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。） ・ 内部足場（脚立、足場板等）　・ 外部足場（・枠組足場　・くさび緊結式足場　・単管本足場） ※足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
	8 建築物又は工作物の解体等の作業	石綿等が使用されている場合、石綿障害予防規則に基づき、作業を行うこと。また、解体等の作業における保護具の装着・湿潤を保つ費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用等及びそれらに費やす工期については、監督職員と協議を行うこと。
	⑨耐震安全性の分類と耐震施工	1 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年3月28日国土交通省大臣官房官庁営繕部制定）」による耐震安全性の分類は下記による。 構造体　・Ⅰ類　・Ⅱ類　・Ⅲ類 建築非構造部材　・Ａ類　・Ｂ類 建築設備　・甲類（特定の施設）　・乙類（一般の施設）
		2 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 1) 設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用水平震度を乗じたものとする。なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。 設計用水平震度 設置場所 ／ 機器種別 ／ 特定の施設 重要機器 ／ 特定の施設 一般機器 ／ 一般の施設 重要機器 ／ 一般の施設 一般機器 上層階、屋上及び塔屋 ／ 機器 ／ 2.0 ／ 1.5 ／ 1.5 ／ 1.0 上層階、屋上及び塔屋 ／ 防振支持の機器 ／ 2.0 ／ 2.0 ／ 2.0 ／ 1.5 上層階、屋上及び塔屋 ／ 水槽類 ／ 2.0 ／ 1.5 ／ 1.5 ／ 1.0 中間階 ／ 機器 ／ 1.5 ／ 1.0 ／ 1.0 ／ 0.6 中間階 ／ 防振支持の機器 ／ 1.5 ／ 1.5 ／ 1.5 ／ 1.0 中間階 ／ 水槽類 ／ 1.5 ／ 1.0 ／ 1.0 ／ 0.6 地下・１階 ／ 機器 ／ 1.0 ／ 0.6 ／ 0.6 ／ 0.4 地下・１階 ／ 防振支持の機器 ／ 1.0 ／ 1.0 ／ 1.0 ／ 0.6 地下・１階 ／ 水槽類 ／ 1.5 ／ 1.0 ／ 1.0 ／ 0.6 重要機器　⊙ 配電盤　・ 受変電設備　・ 発電設備 ・ 直流電源装置　・ 交流無停電電源装置　・ 交換機 ・ 火災報知受信機　・ 中央監視装置　・ 注1) 上層階の定義は次による。 ２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４層とする。 注2) 水槽類にはオイルタンク等を含むものとする。 2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
		3) あと施工アンカー 施工後確認試験　・ 要（引張試験機による引張試験）　・ 不要
	10 土 工 事	
	(1) 残土処理	・ 構内敷きならし　・ 構内の指定場所に堆積 ・ 構外搬出適切処理（受入れ場所：公共残土置き場　　） ※構外搬出の場合は関係法令に従い適切に処理するとともに、建設発生土情報交換システム及び公共工事土量調査システムを活用し、建設発生土の需給調整に努めること。
	(2) 埋め戻し及び盛土	・ 根切りとの中の良質土　・ 山砂
	(3) 地業工事	砂利事業（ ・ 切り込み砂利　・ 切り込み砕石　・ 再生クラッシャラン ）
	11 コンクリート工事	
	(1) 普通コンクリート	・ レディミクストコンクリート(・ Ⅰ類　・ Ⅱ類)　・ 現場練りコンクリート コンクリート設計基準強度(・ 18N/mm2-15-25(捨てコン)　・ 21N/mm2-15-25　・ 24N/mm2-15-25) 構造体コンクリートの強度補正値 打設日 ／ 3/15～7/18 ／ 7/19～8/30 ／ 8/31～11/15 ／ 11/16～3/14 補正値 ／ 3 N/mm2 ／ 6 N/mm2 ／ 3 N/mm2 ／ 6 N/mm2 コンクリート強度試験(・ 実施する　・ 省略する) ・ 異形鉄筋(・ SD295A　・ SD345)
	(2) 鉄　筋	
	⑫は　つ　り	1 既存コンクリート床及び壁の配管用貫通部の穴あけは、ダイヤモンドカッターによる。 2 事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。
	⑬ｺﾝｸﾘｰﾄ埋設部のＸ線探査	コンクリート埋設部のＸ線探査は（ ・ 要　⊙ 不要 ）とする。
	⑭穿 孔 作 業	既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。
	15 ス リ ー ブ	・ 紙製（一般床、壁）　・ 鋼製（梁、水密を要する地中等）　・ 塩ビ製（水密を要しない地中等）
	16 呼び線及び予備配管	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を入線する。埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本、5個の場合(25)を2本、天井まで立上げる。
	⑰電線本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降配線経路は、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上PF管で記載している場合であっても、立上部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。
	⑱金属管の塗装	1 次の箇所の露出配管は塗装を行う。 ・ 屋外　⊙ 屋内（ 露出部 ） 2 次の箇所の露出配管は塗装不要とする。 ・ 機械室内　・（　　）
	⑲フラッシュプレート	⊙ 新金属製　・ ステンレス製　・ 樹脂製
	⑳再 使 用 機 器	取外し再使用機器は清掃、絶縁測定のうえ取付ける。
	21 保温、結露防止	外気に面する壁・天井で、内断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
	22 高圧交流遮断器	操作方式（ ・ 電気操作方式　・ 手動ばね操作方式 ）
	23 消　火　器	適用範囲（ ・ 受変電設備　・ 発電設備 ） ・ ABC粉末消火器　　号　　本 ・ 消火器収納箱　　本入　　個（ ・ 鋼板製　・ SUS製 ） ・ 表示板（ ・ 鋼板製　・ SUS製　・ アルミ製 ）
	24 電話機への配線	・ 内線電話機1台につき、EM-TIEF0.65-2Cを2mを見込む。 ・ ボタン電話機1台につき、電子ボタン電話用ケーブルEM-EBT0.4-4Cを2mを見込む。
	㉕火災報知設備用総合盤	・ 消火栓箱(別途)に組込　⊙ 専用
	26 ガス漏火災警報装置	ガス種類　・ 都市ガス　・ LPガス 監視方式　・ 個別式　・ 集中監視式 ・ 受信機(　　型　　級　　回線)　・ 火報盤と一体　・ 単独
	27 管の埋設深さ	原則として、管の上端より一般敷地では600mm以上、車両通路では800mm以上とする。
	28 ハンドホール	・ 標準図による(蓋は富山県章入りとする)
	29 地中埋設標等	(1)地中埋設標　・ 要（図示による）　・ 不要 (2)埋設表示テープ　・ 要　・ 不要
	㉚取 付 高 さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。 名　称 ／ 測　点 ／ 取付高[mm] ブラケット（一般） ／ 床上～中心 ／ 2,100 〃　（講場） ／ 〃 ／ 2,500 〃　（鏡上） ／ 鏡上端～中心 ／ 150 スイッチ（一般） ／ 床上～中心 ／ 1,200 〃　（多機能便所用） ／ 〃 ／ 1,200 ｺﾝｾﾝﾄ,電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ,ﾃﾚﾋﾞ端子（一般） ／ 〃 ／ 400 〃　（和室） ／ 〃 ／ 150 〃　（台上） ／ 台上～中心 ／ 150 ｺﾝｾﾝﾄ（土間） ／ 床上～中心 ／ 800～1,300 引込開閉器箱（低圧） ／ 床上～上端 ／ 1,500 分電盤，制御盤，実験盤 ／ 床上～中心 ／ 1,500(上端1,900以下) 開閉器箱 ／ 〃 ／ 1,500 電磁開閉器用押しボタン ／ 〃 ／ 1,200 接地用端子箱 ／ 地上,床上～中心 ／ 500 試験用接続端子箱 ／ 床上～下端 ／ 800 接地極埋設標 ／ 地上～中心 ／ 600 給油ボックス ／ 地上～給油口 ／ 1,000 室内端子盤（廊下・室内） ／ 床上～下端 ／ 300 中間端子盤（EPS・電気室） ／ 床上～中心 ／ 1,500 壁付電話機 ／ 〃 ／ 1,300 親時計 ／ 〃 ／ 1,500(上端1,900以下) 子時計,スピーカ ／ 〃 ／ (天井高)×0.9 アッテネータ ／ 〃 ／ 1,200 表示盤 ／ 〃 ／ (天井高)×0.9 発信器（出退表示用） ／ 〃 ／ 1,200 外部受付用インターホン（子機） ／ 〃 ／ 標準図による 壁付インターホン（上記以外） ／ 〃 ／ 1,100 呼出ボタン（多機能便所用） ／ 〃 ／ 900 復帰ボタン（ 〃 ） ／ 〃 ／ 1,300 廊下表示灯（ 〃 ） ／ 〃 ／ 2,000 テレビ機器収容箱 ／ 天井下～上端 ／ 200 火報受信機（複合盤） ／ 床上～操作部 ／ 800～1,500 副受信機 ／ 床上～中心 ／ 1,500 自動通報機器収容箱 ／ 〃 ／ 800～1,500 発信機 ／ 〃 ／ 800～1,500 警報ベル ／ 〃 ／ (天井高)×0.9 表示灯 ／ 〃 ／ (天井高)×0.8 連動制御器（自動閉鎖） ／ 〃 ／ 1,500 ガス漏れ検知器（重ガス） ／ 〃 ／ 300 〃　（軽ガス） ／ 天井面～中心 ／ (天井面)-200 （備考）　天井面を基準とする取付高は、天井高さが2,500mmから3,000mmの場合に適用する。 天井高が3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。
	㉛電　線　類	二重床内に配線するEM-UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。 二重床内に設置する器具の位置表示としてマーキングを、直上の天井面につけること。また、用途に応じ色分けすること。
	32 二重床内器具	
⊙撤去工事	①撤 去 内 容 ②支 持 金 物 等	図示による。 照明器具及び電線管等の支持金物・吊りボルト等は本工事にて撤去する。
	3 アスベスト含有調査等	・ アスベスト含有分析調（ ・ 定性分析　・ 定量分析）ただし費用は別途とする。 分析方法は「建材中の石綿含有率の分析方法について」（厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質平成18年8月21日　基安化発第0821002号）にはるJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
	4 発生材の処理等	・ 撤去方法　（ ・ 図示による　・　　）
		・ 引渡しを要するもの（ ・ 図示による　・　　）
		・ 特別管理産業廃棄物（　　）
		同上の処理方法　（　　）
		・ 再資源化を図るもの（　　）
		・ ＰＣＢを含む機器類は、ＰＣＢが飛散、流出及び地下への浸透が無いよう適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、施設担当者に引き渡す。
⊙その他	①注 意 事 項	防火上主要な間仕切り壁内に取付けるﾀﾞｸﾄ類は、金属製・不燃材の物を使用する。

・日付
・
・
・
・

富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785
理 事 長　藤 井 均
管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹 林 正 宏
一級建築士事務所　登録（１０）３２号

工事名	県立大学　合同棟　ピロティ増築工事	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印	図面番号
図面名	電気設備特記仕様書　縮尺　―	担当　原　監修	Ｅ－０１

分電盤結線図

盤名称 盤形式	回路構成	結線図	分岐回路 回路番号	電圧（V）	負荷容量（VA）	負荷区分	分岐遮断器 種類	極数	AF	AT	主回路	制御回路	リモコン機器 Ry個数	制御機器	中央監視盤 発停	RL	OL		備考
電灯盤 L1−1−2 自立型 指定色		1φ3W 200/100V MCB 100/75AT CET38sq Wh P	非	100	200	P	M	2	50	20	1								非常照明
			誘	100	200	P	M	2	50	20	1								郵送等
			錠	100	200	P	M	2	50	20	1								電気錠
			1	100	780.3	L	E	2	50	20	4		▲×13						風除室,廊下他
			2		718.9								▲×10						実験室他
																			予備
		1,499.2VA																	予備
			C1	100	1000	C	E	2	50	20	1								実験室
			C2		1000														実験室
			C3		200														実験室,教員室５
			C4		1000														教員室５
			C5		1000														教員室４
			C6		1000														教員室３
			C7		300														教員室３,教員室４他
			C8		1000														教員室２
			C9		300														実験室,教員室１,教員室２
			C10		1000														教員室１
																			予備
																			予備
		8,500VA	F1		700														実験室,教員室他
			F1	200	2000	F	E	2	50	20	1								実験室,教員室他
																			予備
		2,000VA																	予備
		12,599.2VA																	
																			伝送ユニット組込
																			リモコントランス組込
																			ソーラータイマー組込
		Wh は検定付、ﾊﾟﾙｽ発信機付とする。																	

注記 1

回路番号区分は下記とする

□ ： １φ２Ｗ　１００Ｖ−ＡＣ

◯ ： １φ２Ｗ　２００Ｖ−ＡＣ

注記 2

負荷区分は下記とする

Ｌ ： 電　灯
Ｃ ： コンセント
Ｆ ： ファンコイル
Ｐ ： 専用電源

遮断器の種別は下記とする

Ｍ ： ＭＣＢ
Ｅ ： ＥＬＢ

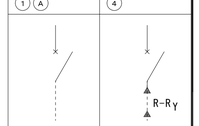
注記 3

図中リモコン機器シンボル　▲ ■ ●　は、下記とする

▲ ： リモコンリレー　（１００Ｖは片切り、２００Ｖは両切りとする）

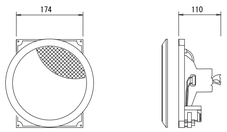
■ ： フル２線リモコンリレー　制御用　Ｔ／Ｕ
４回路の内　１回路とする

主回路



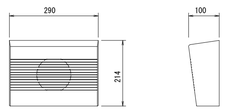
既設弱電設備姿図

A 天井埋込スピーカ
B 天井埋込スピーカ（ＡＴＴ付）



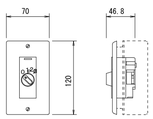
定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
入力インピーダンス	３．３ｋΩ、１０ｋΩ
周波数特性	１００Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１ｍ、１Ｗ）
使用スピーカ	１６ｃｍコーンスピーカ
パネル	アルミパンチング
音量調整（Ｂのみ）	４段階（ＡＴＴ付）

D 壁掛スピーカ（ＡＴＴ付）



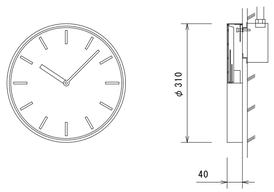
定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
入力インピーダンス	３．３ｋΩ、１０ｋΩ
周波数特性	１５０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１ｍ、１Ｗ）
使用スピーカ	１２ｃｍコーンスピーカ
仕上げ	ハイインパクトスチロール樹脂
音量調整	４段階（ＡＴＴ付）

n アッテネーター



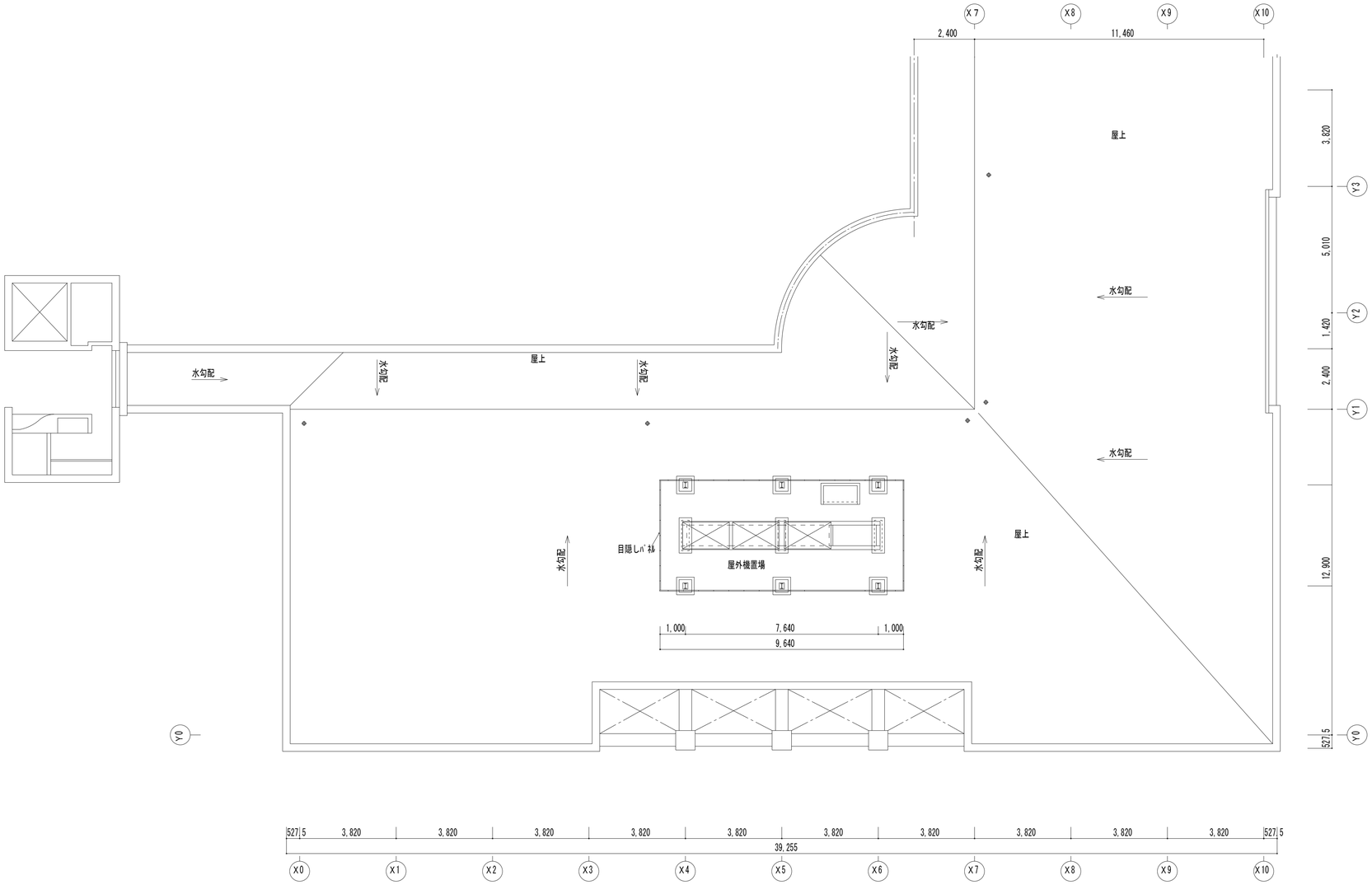
入力容量	１Ｗ	２Ｗ
入力インピーダンス	１０ｋΩ	５ｋΩ
ＡＴＴ切替	４段	
パネル	新金属	

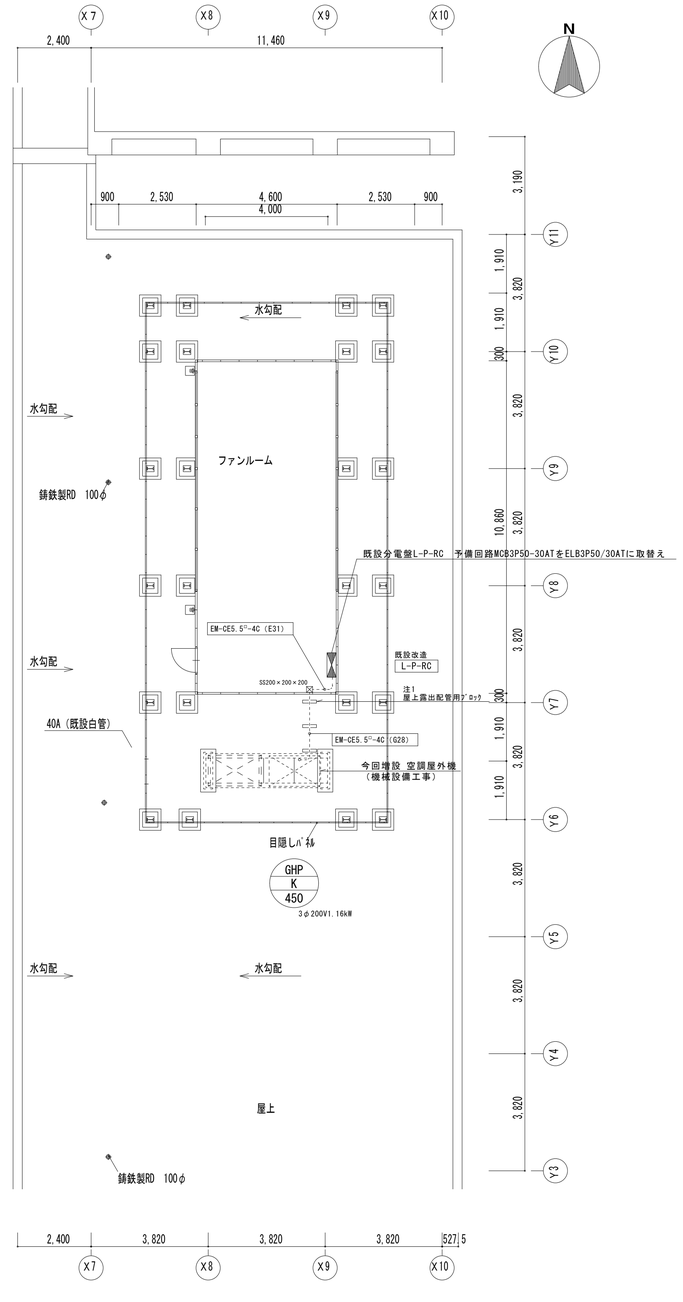
A φ310壁掛型子時計



ケース	鋼板製 黒色
文字板	アルミバトラー仕上
文　字	黒色印刷
指　針	アルミ 黒色
ガラス	透明 2t
機　体	DC24V 有極30秒運針

日付	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井　均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正宏	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　器具姿図・分電盤結線図　縮尺
	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　監修	図面番号　Ｅ−０２	





注記：G管は溶融亜鉛メッキ製とする。

注1.屋上露出配管用ﾌﾞﾛｯｸの仕様は下記とする。
L=450 H=100 ｺﾞﾑﾍﾞｰｽ付
ｽﾃﾝﾚｽﾁｬﾝﾈﾙﾍﾞｰｽ

合同棟　R階 平面図　1/100

・日付 ・ ・ ・	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井　均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正安	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　屋上階　動力設備配線図　縮尺 1/100	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　細矢　監修	図面番号 Ｅ－０３

現況照明器具姿図

D321W	FHT 32W ×1 灯用
	防雨型

参考品番 NFM42709K

改修後照明器具姿図

※型名は参考とする。

A363	LED 36.3W ×1 灯用	B131	LED 13.1W ×1 灯用
	Hf32形器具2灯相当 ﾗﾝﾌﾟ・電源部含む		FHT32形蛍光灯1灯器具相当 枠：鋼板ﾎﾜｲﾄつや消し仕上 反射板下部：鋼板ﾎﾜｲﾄつや消し ﾗﾝﾌﾟ・電源部含む

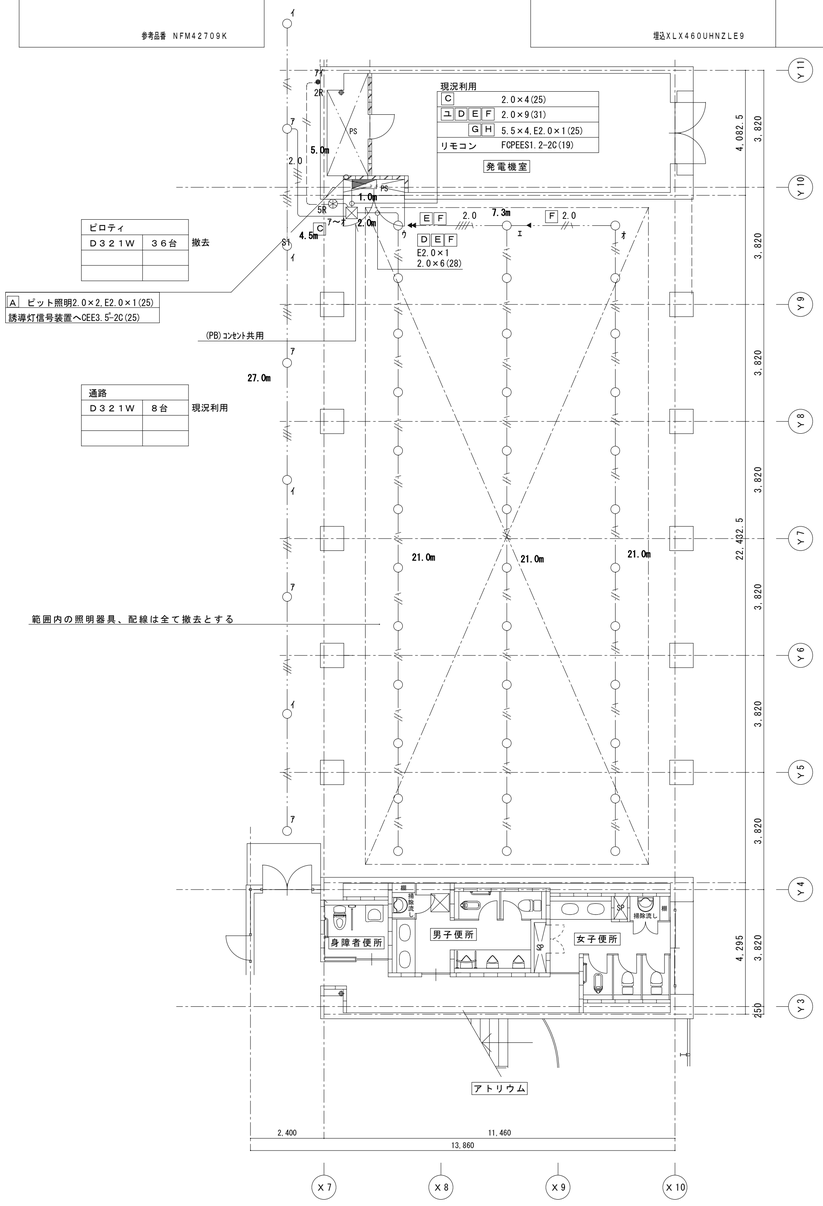
埋込XLX460UHNZLE9

XNDN1668WWKLE9

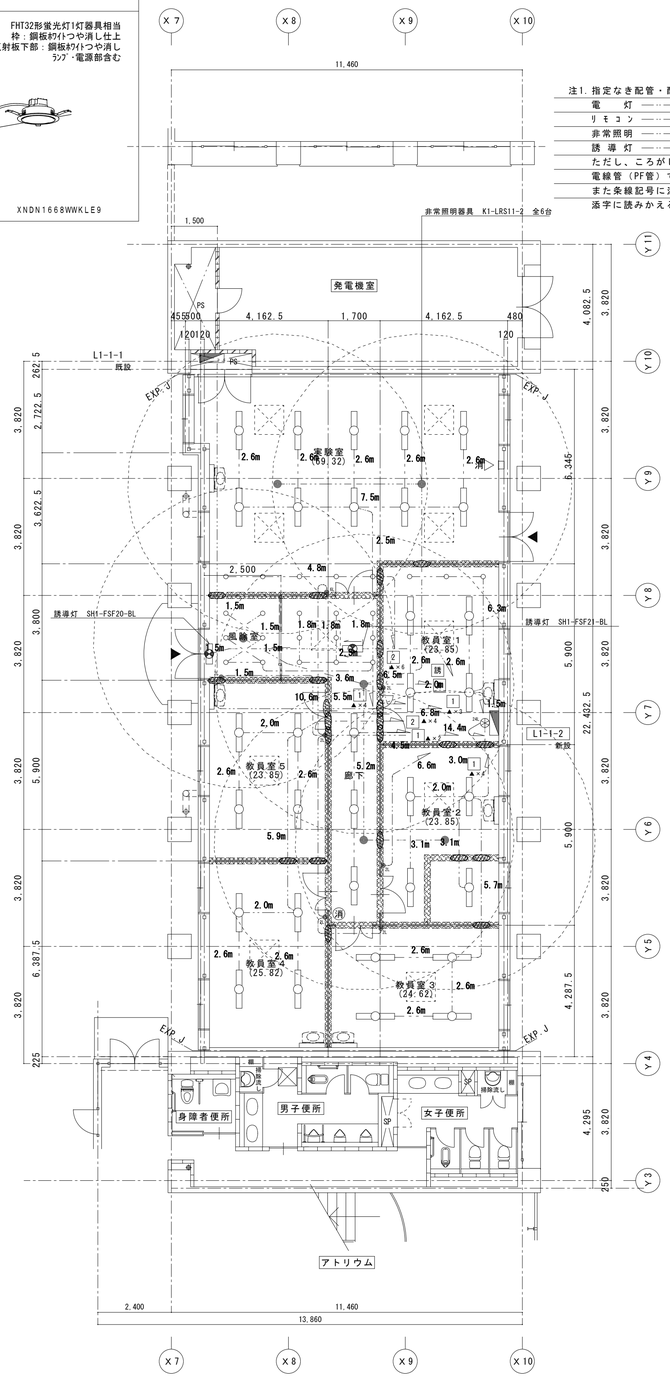
注1. 指定なき配管・配線は下記の通りとする。

電　灯	―・・―	EM-EEF1.6-3C(ｺﾛｶﾞｼ)
リモコン	―・・―	EM-FCPEES1.2-2C(ｺﾛｶﾞｼ)
非常照明	―・・―	EM-EEF1.6-3C(ｺﾛｶﾞｼ)
誘導灯	―・・―	EM-EEF1.6-3C(ｺﾛｶﾞｼ)

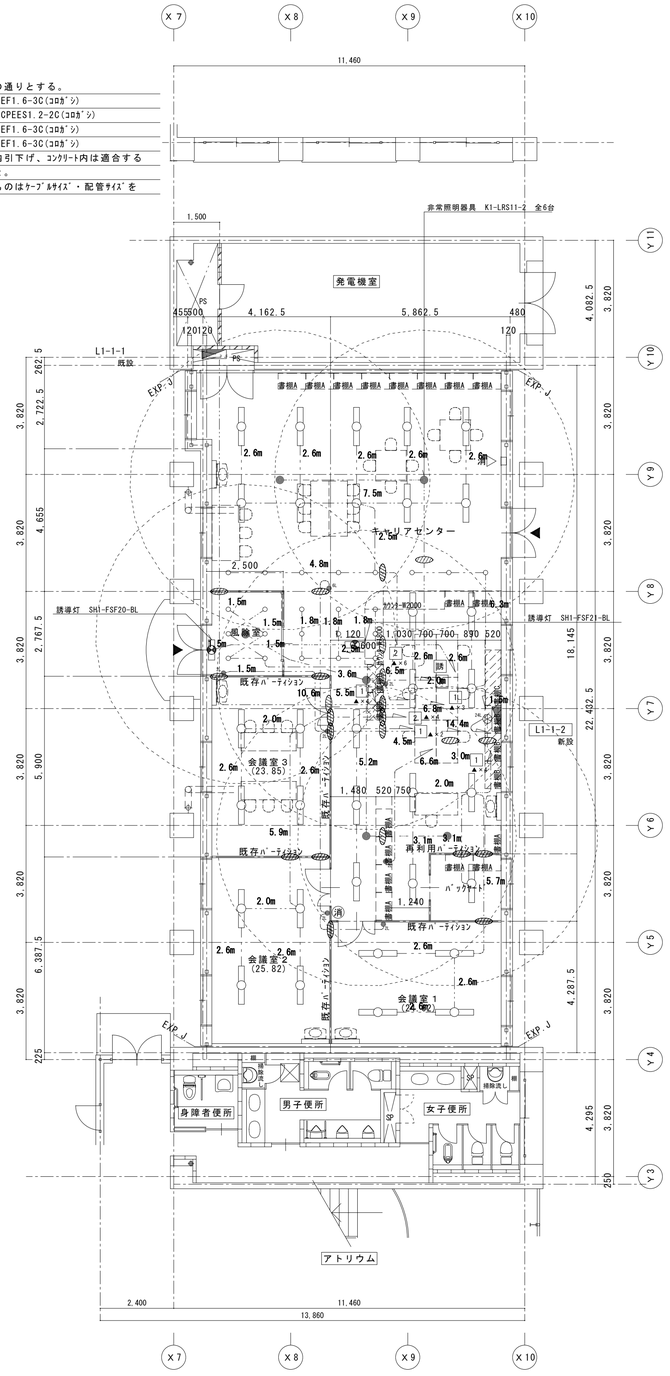
ただし、ころがし配線で壁内引下げ、ｺﾝｸﾘｰﾄ内は適合する電線管（PF管）で保護のこと。
また条線記号に添字のあるものはｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ・配管ｻｲｽﾞを添字に読みかえること。



合同棟　既存１階 平面図



改修第一期　平面図
（供用開始：Ｈ30年1月～）



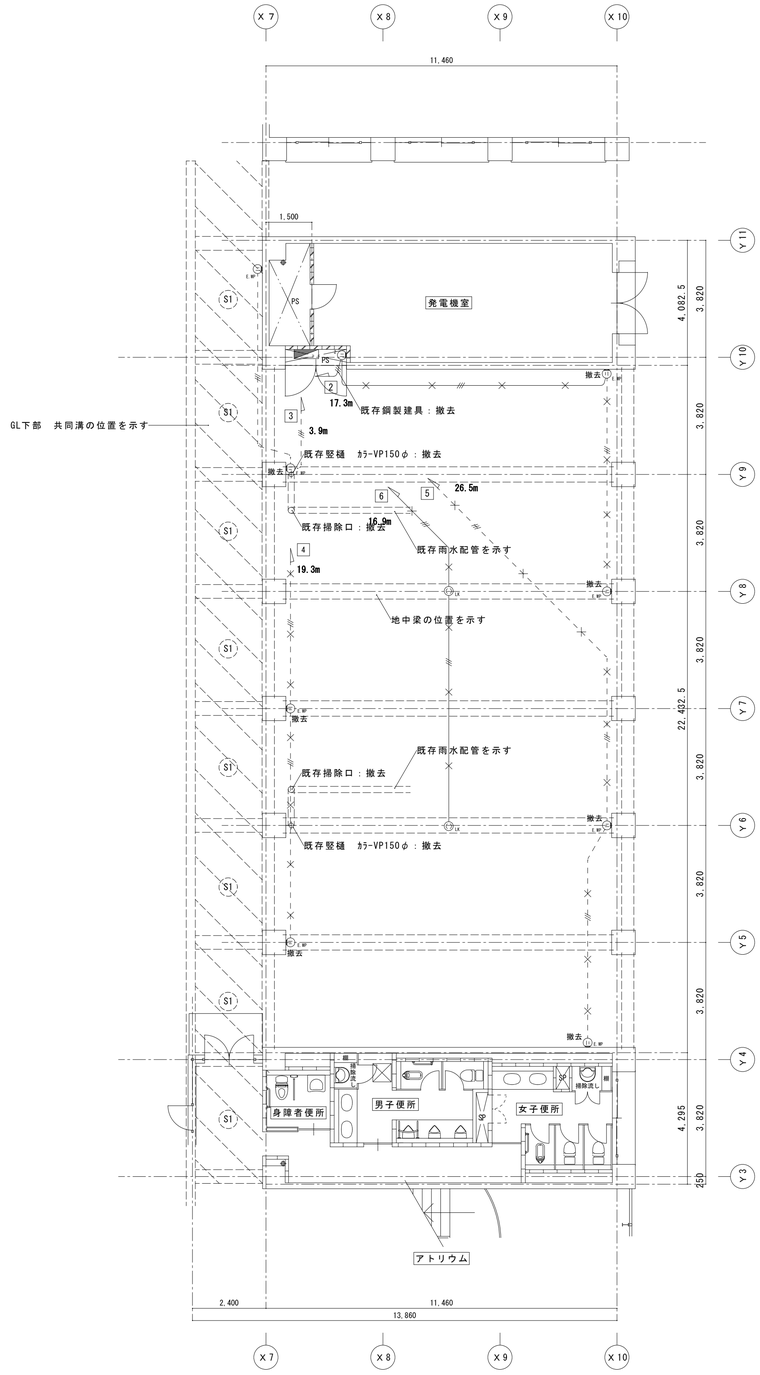
改修第二期　平面図（参考図：今回工事範囲外）
（供用開始：Ｈ32年7月～）

（註記）

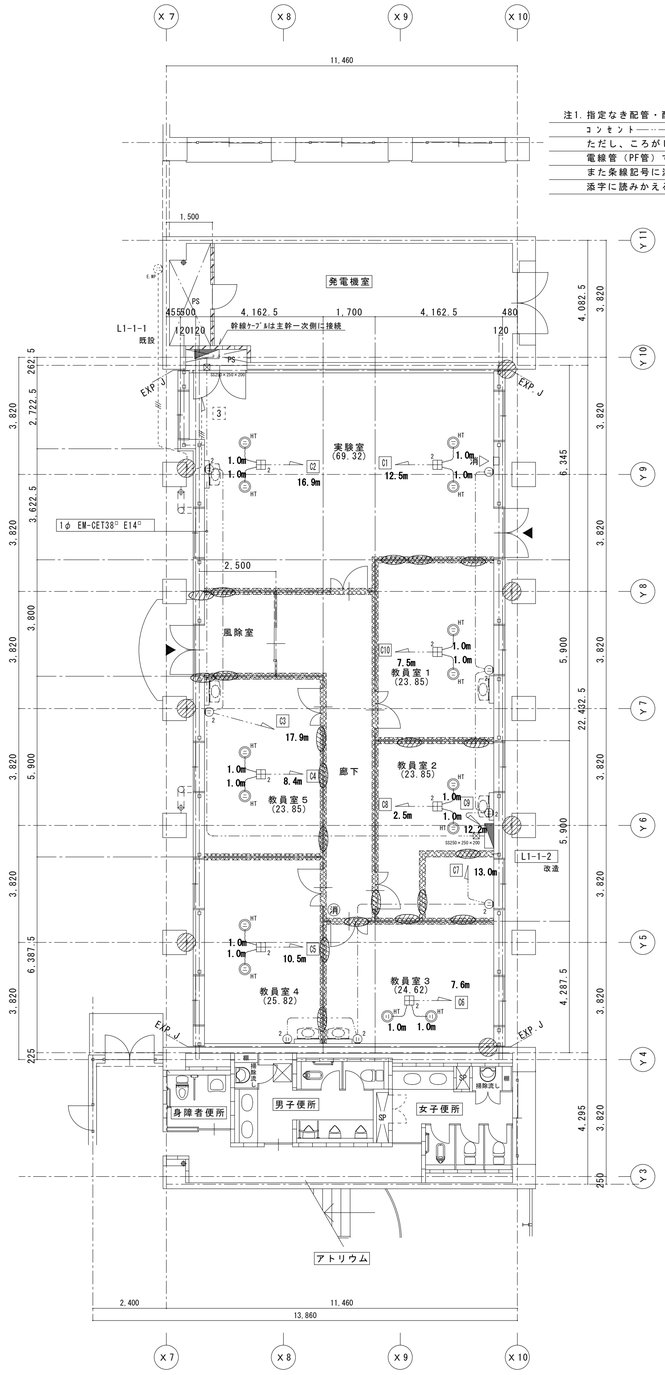
- ―天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
- ◁消 ―消火器の位置を示す（消火器ボックス組込み）
- (消) ―消火器の位置を示す（床置き）

・日付 ・ ・ ・	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井　均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正宏	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　電灯設備配線図　縮尺 1/100	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　監修	図面番号 Ｅ－０４

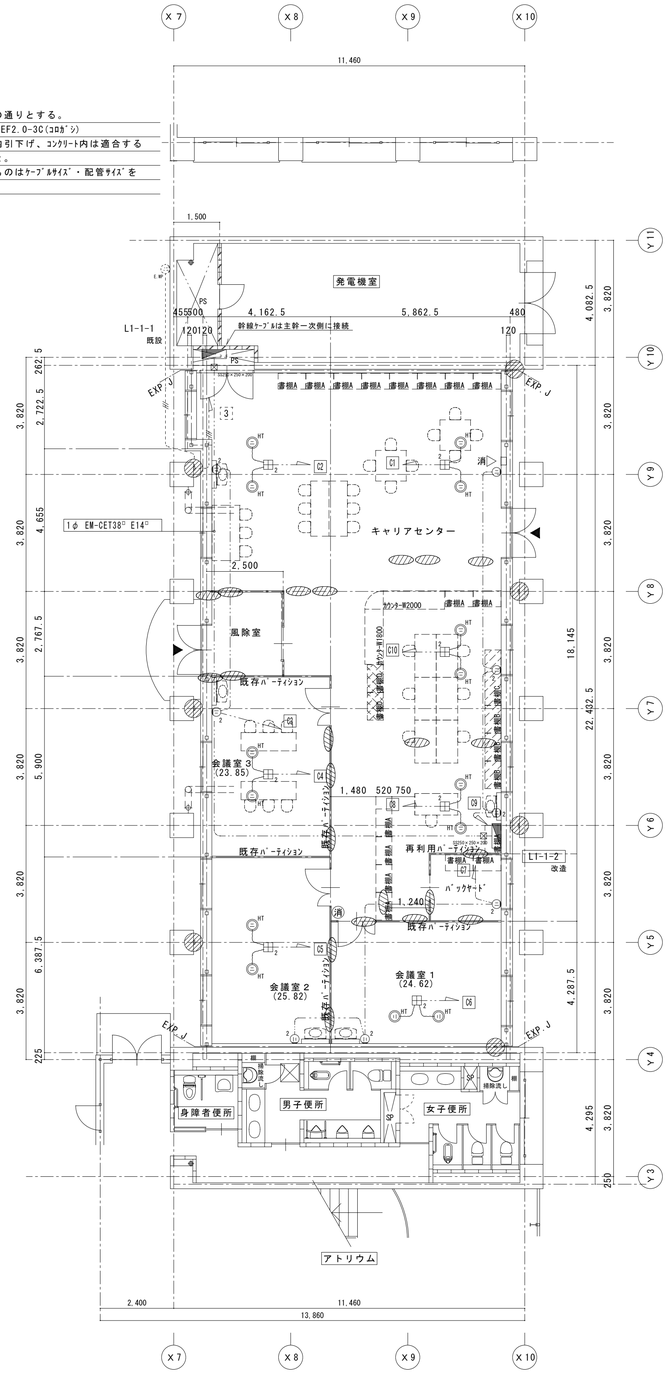
注1. 指定なき配管・配線は下記の通りとする。
コンセント――――― EM-EEF2.0-3C(コロガシ)
ただし、ころがし配線で壁内引下げ、コンクリート内は適合する電線管（PF管）で保護のこと。
また条線記号に添字のあるものはケーブルサイズ・配管サイズを添字に読みかえること。



合同棟　既存１階 平面図



改修第一期　平面図
（供用開始：Ｈ30年1月～）



改修第二期　平面図（参考図：今回工事範囲外）
（供用開始：Ｈ32年7月～）

注記1：図示したコンセントは撤去し、カバープレート取付け
注記2：×は配管・電線・ケーブルの撤去を示す。但し、隠蔽配管は残置とする。

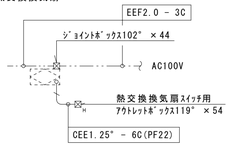
（註記）
－天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
－消火器の位置を示す（消火器ボックス組込み）
－消火器の位置を示す（床置き）

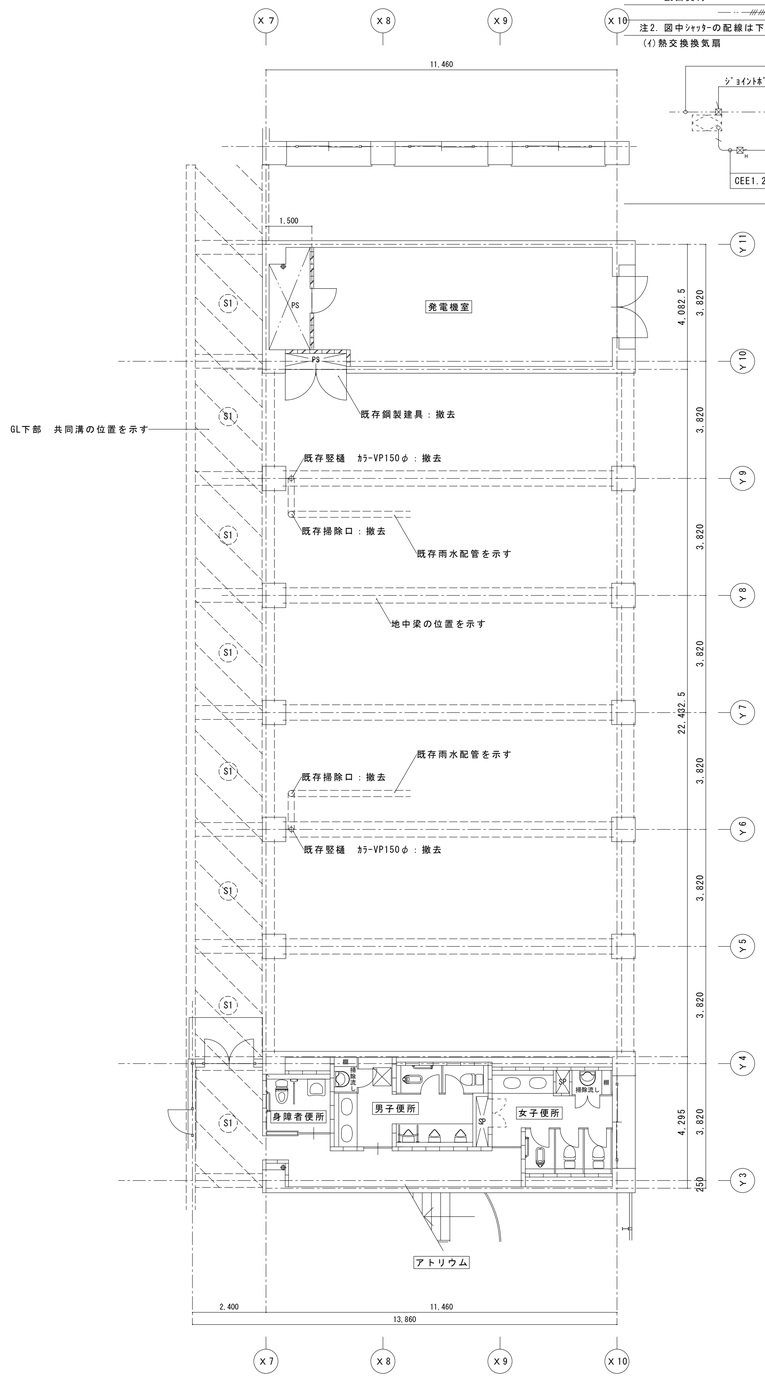
凡例

記号	名称	仕様
$\ominus^{2}$	コンセント	2P15A×2
$\ominus^{E,WP}$	コンセント	2P15A×1 ET付 WP
$\boxplus_{2}$	ハーネスジョイントボックス	E付2分岐
$\boxed{\ominus}_{HT}$	ハーネスOAコンセント	E付4個口　ケーブル3m付

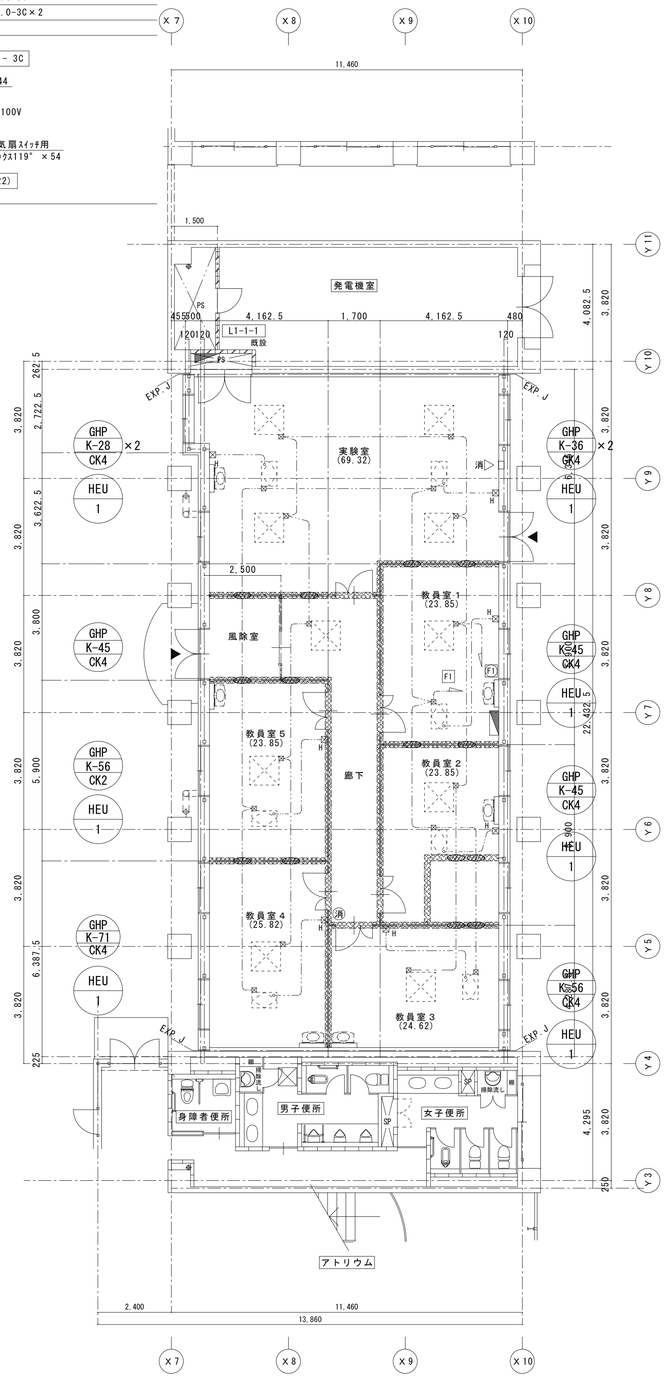
・日付	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井　均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正宏	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　１階 コンセント設備配線図　縮尺 1/100
			管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　細矢　監修
			図面番号　Ｅ－０５

注1. 指定なき配管・配線は下記の通りとする。
設備負荷 ——·····—— EM-EEF2.0-3C
——·····—#—#— EM-EEF2.0-3C×2
注2. 図中ｼｬｯﾀｰの配線は下記とする。
(イ)熱交換換気扇

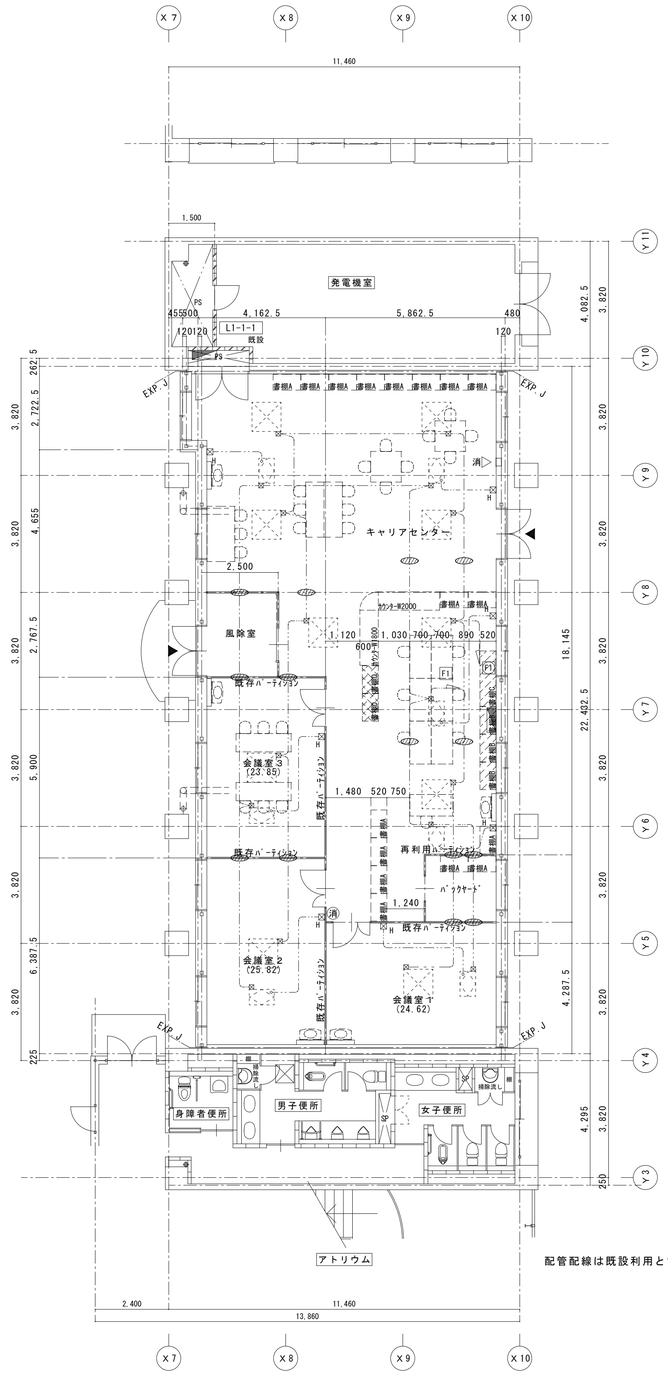




合同棟　既存１階 平面図



改修第一期　平面図
（供用開始：Ｈ30年1月～）

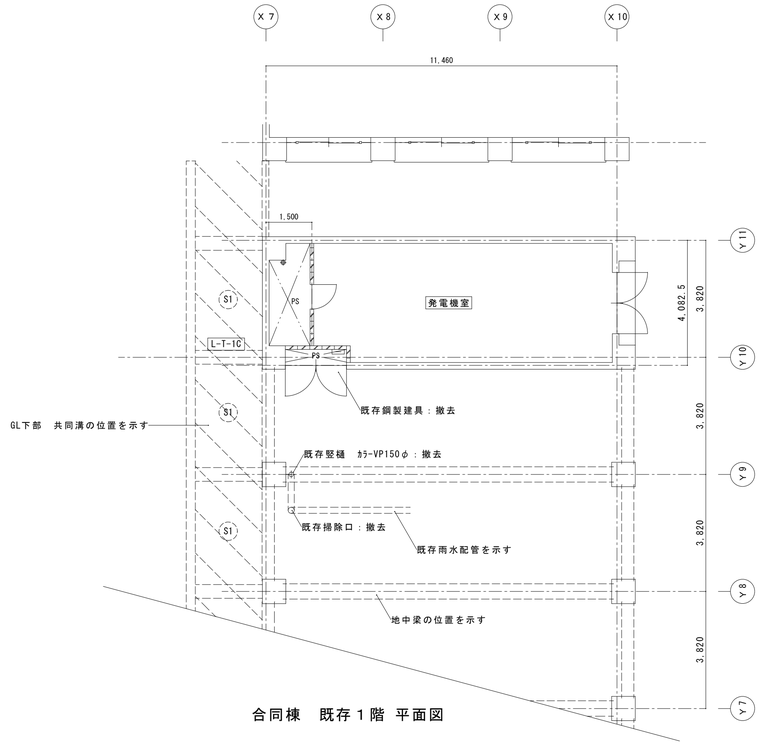


配管配線は既設利用とする。

改修第二期　平面図（参考図：今回工事範囲外）
（供用開始：Ｈ32年7月～）

（註記）
－天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
消 －消火器の位置を示す（消火器ボックス組込み）
消 －消火器の位置を示す（床置き）

・日付 ・ ・ ・	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井 均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正宏	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　空調配線設備図　縮尺 1/100	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　監修	図面番号 Ｅ－０６



合同棟　既存１階 平面図

凡 例

記号	名 称	仕様・備考	記 事
	情報ｺﾝｾﾝﾄ（壁）	ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯付ﾌﾟﾚｰﾄ	
	情報ｺﾝｾﾝﾄ（床）	ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯付	
2C	情報用取出し口	露出型２口 ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯	参考型名NR3162
4C	情報用取出し口	露出型４口 ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯	参考型名NR3164
6C	情報用取出し口	露出型６口 ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯	参考型名NR3166
	情報用ｺｰﾄﾞ	ｺｰﾄﾞ両端ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯	参考型名NR11503K　貸出用ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ8極8芯付 参考型名NR3161
	電話ｺﾝｾﾝﾄ（壁）	ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 6極4芯付ﾌﾟﾚｰﾄ	
	電話ｺﾝｾﾝﾄ（床）	ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 6極4芯付	
	電話用取出し口	露出型ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 6極4芯付	参考型名WNT3543KP

表 1　使用ｹｰﾌﾞﾙ・保護管の数量

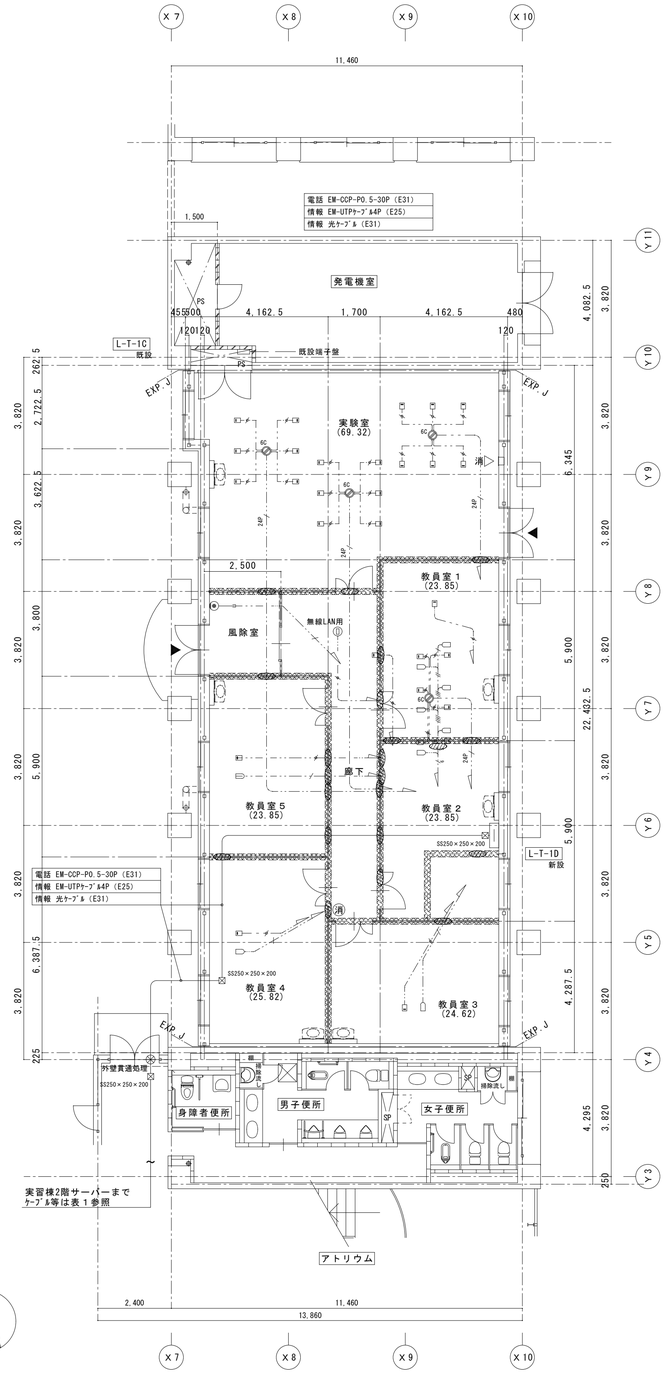
設備	ｹｰﾌﾞﾙ名	使用ｹｰﾌﾞﾙの保護管						ｺﾛｶﾞｼ	ﾒﾀﾙﾓｰﾙｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ		防火区画貫通処理			壁貫通処理		備考
		E31	E25	PF28	PF22	MMB	MMA		MMB	MMA	E31	E25		φ100		
電話	EM-CCP-P0.5-30P	4m		100m		4m		—	2個		4ヶ所			2ヶ所		
情報	EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ4P×２		4m		100m		4m	—		2個		4ヶ所				
情報	光ｹｰﾌﾞﾙ	4m		100m		4m		—	2個		4ヶ所					

注1. 指定なき配管・配線は下記の通りとする。
情　　報 ——/—— ～ ——//// EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ4P×1～5（PF22）
—·—·—— ～ —·—·//// EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ4P×1～5（ｺﾛｶﾞｼ）
—·—24P— EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ24P×1（ｺﾛｶﾞｼ）
電　　話 ——/—— ～ ——//// EM-BTIEE0.4-2P×1～5（PF22）
—·—·—— ～ —·—//// EM-BTIEE0.4-2P×1～5（ｺﾛｶﾞｼ）
ただし、ころがし配線で壁内引下げ、ｺﾝｸﾘｰﾄ内は適合する
電線管（PF管）で保護のこと。
また条線記号に添字のあるものはｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ・配管ｻｲｽﾞを
添字に読みかえること。
注2. ｼﾝﾎﾞﾙ図中で ////// は防火区画貫通処理を示す。
防火区画・防火上主要な間仕切壁の貫通は、国土交通大臣認定
工法により施工すること。

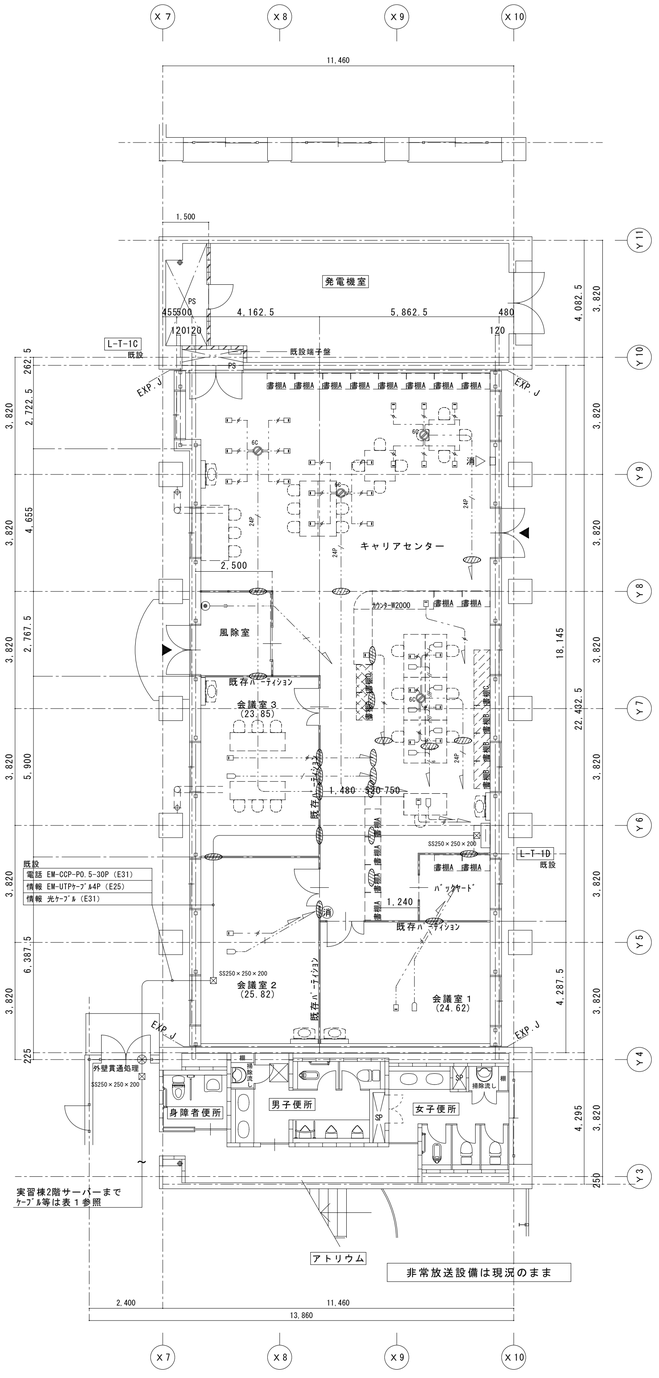
注記：防火上主要な間仕切り壁内に取付けるﾎﾞｯｸｽ類は、金属製・不燃材の物を使用する。（各設備共通事項）

端子盤ﾘｽﾄ

端子盤名	電　話	情　報	放　送	予備
L-T-1D 自立型 指定色	80P	光整端器ｽﾍﾟｰｽ HUBｽﾍﾟｰｽ 露出2口ｺﾝｾﾝﾄ×1	10P	20P



改修第一期　平面図
（供用開始：Ｈ30年1月～）

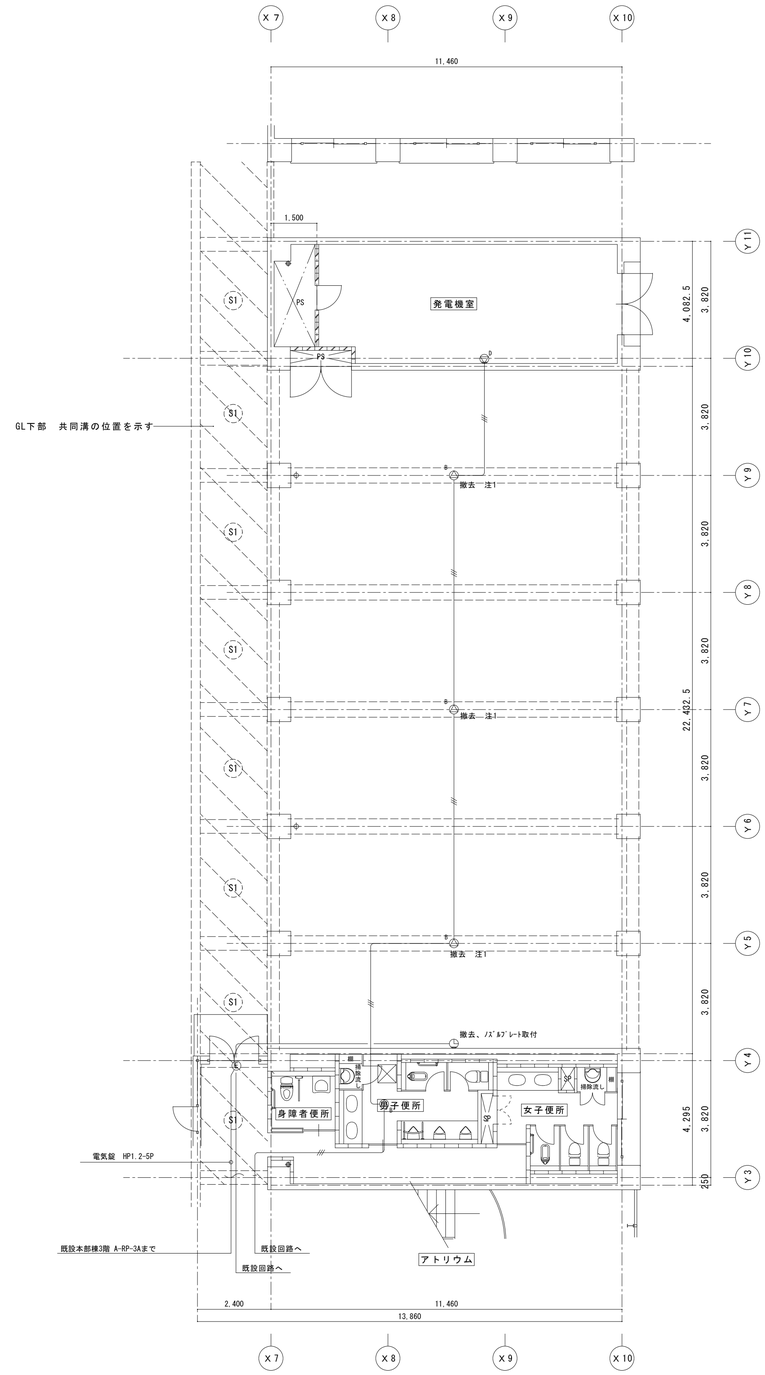


改修第二期　平面図（参考図：今回工事範囲外）
（供用開始：Ｈ32年7月～）

（註記）
ｰ天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
消　ｰ消火器の位置を示す（消火器ボックス組込み）
消　ｰ消火器の位置を示す（床置き）

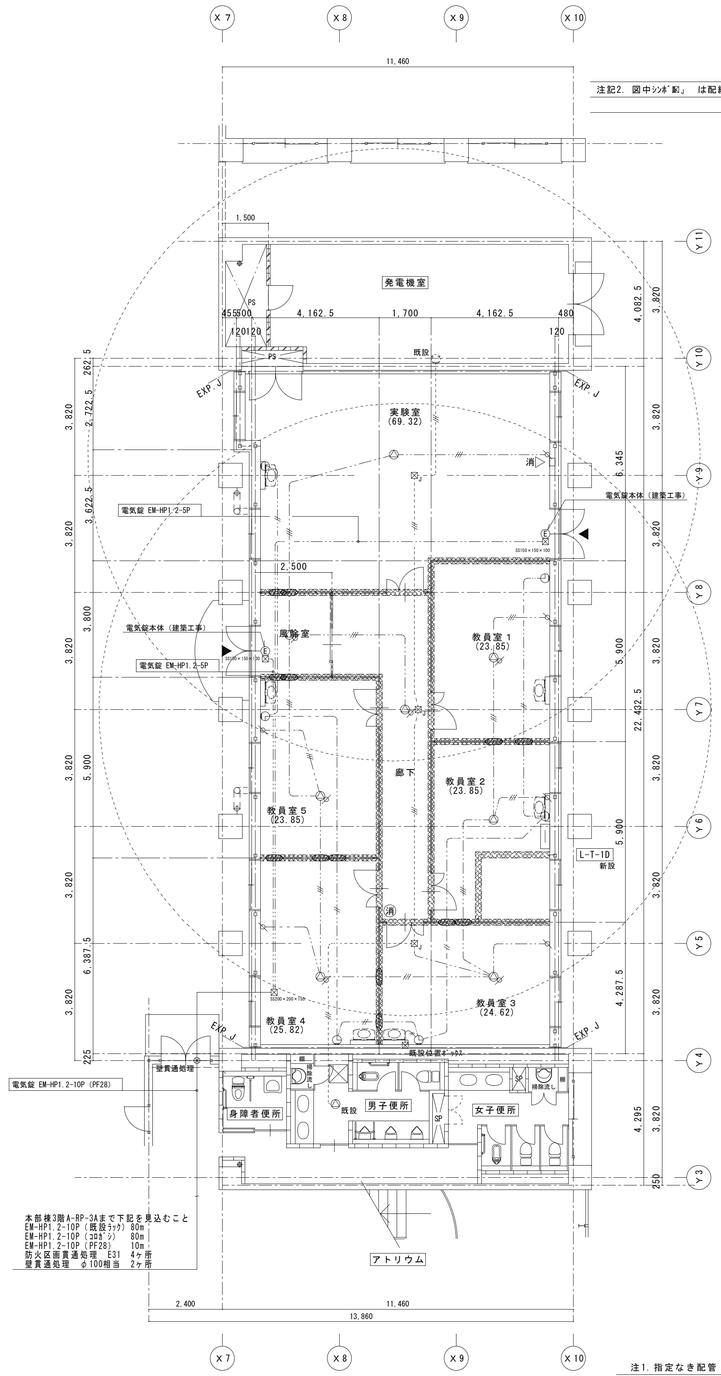
・日付 ・ ・ ・	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理 事 長　藤 井 均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹 林 正 宏	一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印	図面番号
			図面名　１階 電話・情報設備配線図　縮尺 1/100	担当　原　監修	Ｅ－０７

注記2. 図中ｼﾝﾎﾞﾙ」 は配線ｹｰﾌﾞﾙ接続用ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ中型四角浅型を示す（ｽﾋﾟｰｶｰ用）

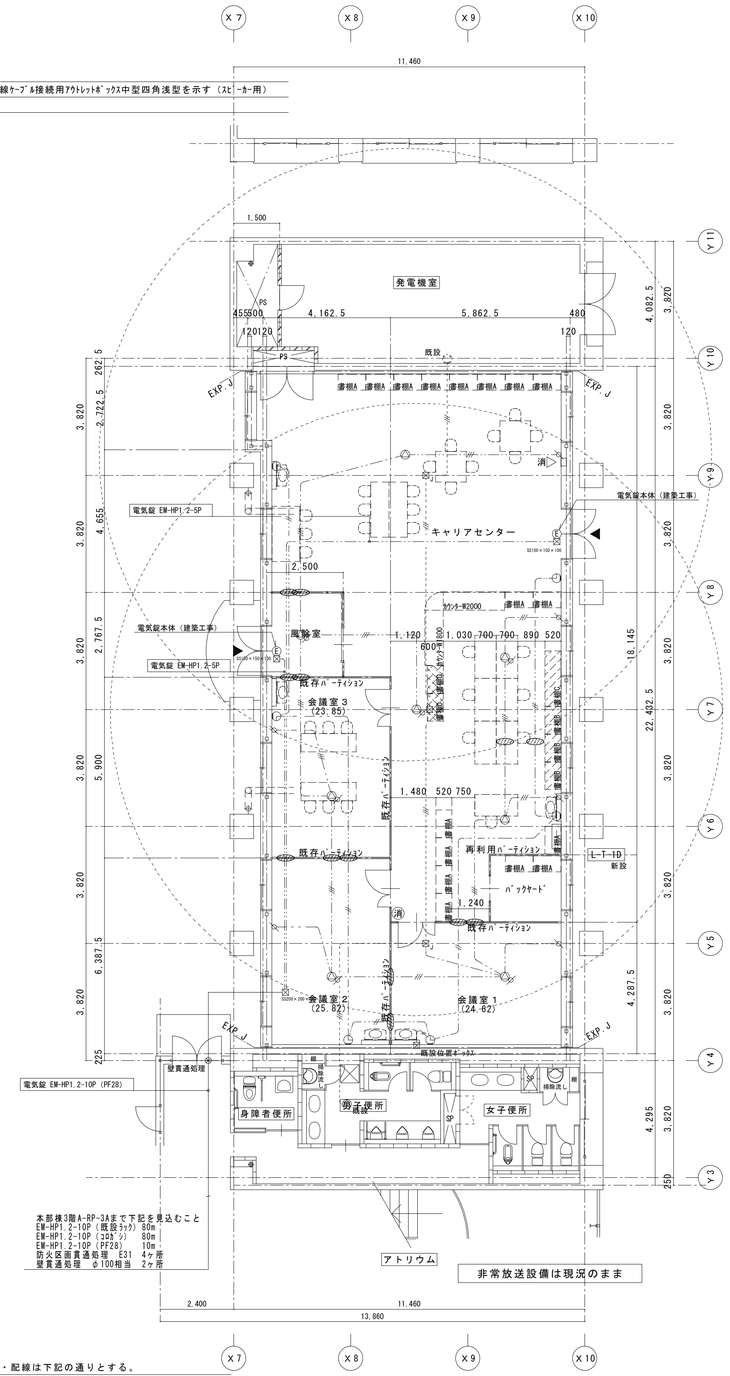


注記1. ｽﾋﾟｰｶｰ撤去後　ｹｰﾌﾞﾙを接続し電気室ｽﾋﾟｰｶｰを生かすこと。
ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ中形四角浅型を見込むこと。

合同棟　既存１階 平面図



改修第一期　平面図
（供用開始：Ｈ30年1月～）



改修第二期　平面図（参考図：今回工事範囲外）
（供用開始：Ｈ32年7月～）

注1. 指定なき配管・配線は下記の通りとする。

放　送	―…―//―	EM-HP1.2-3C(ｺﾛｶﾞｼﾗ)
	―――//―	EM-HP1.2-3C(PF16)
時　計	―…―//―	EM-AE1.2-2C(ｺﾛｶﾞｼﾗ)
	―――//―	EM-AE1.2-2C(PF16)

ただし、ころがし配線で壁内引下げ、ｺﾝｸﾘｰﾄ内は適合する
電線管（PF管）で保護のこと。
また条線記号に添字のあるものはｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ・配管ｻｲｽﾞを
添字に読みかえること。
注2. 図中ｼﾝﾎﾞﾙで（///）は防火区画貫通処理を示す。
防火区画・防火上主要な間仕切壁の貫通は、国土交通大臣
認定工法により施工すること。

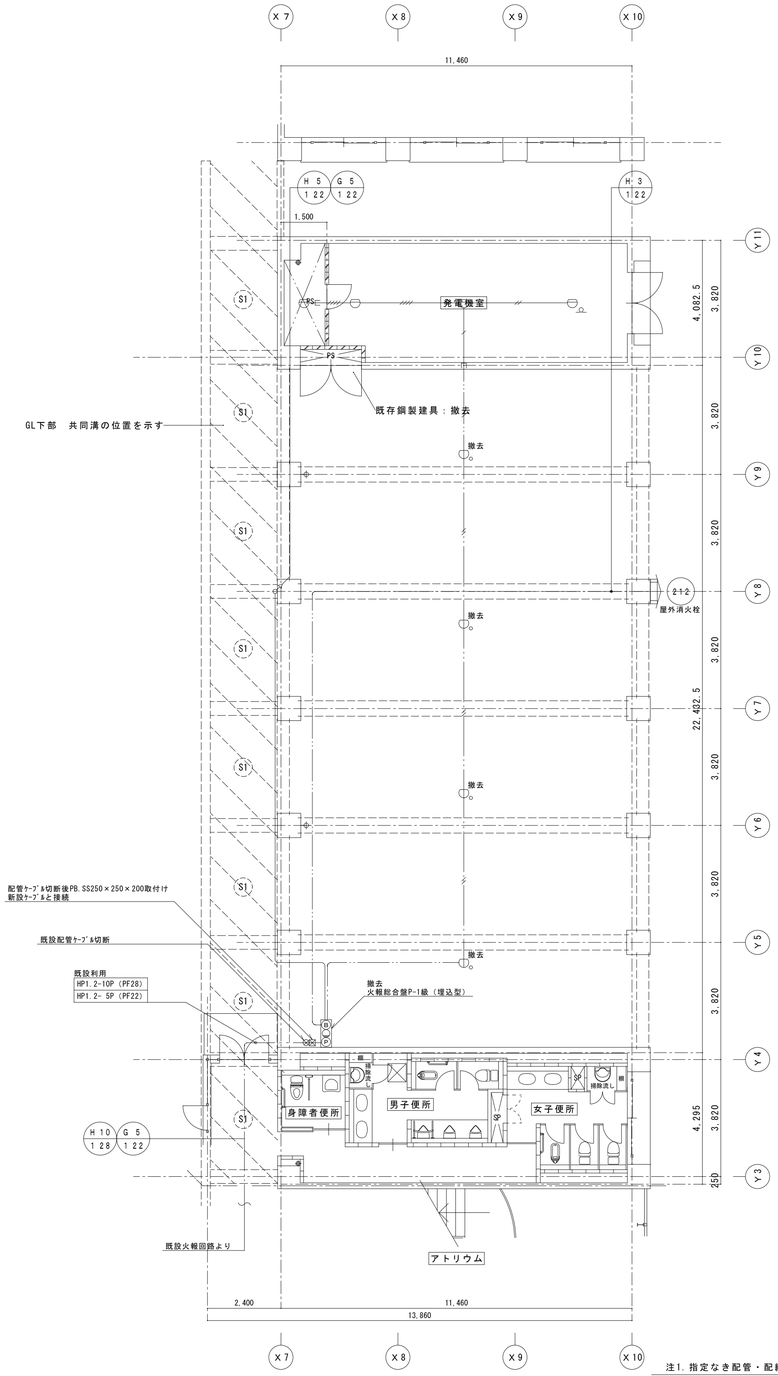
凡　例　改修後

記号	名称	仕様	
△	天井付ｽﾋﾟｰｶｰ	既設と同等品	SC6Hi-3V0-M
△	天井付ｽﾋﾟｰｶｰ　ｱｯﾃﾈｰﾀｰ付	既設と同等品	SC6Hi-3V3-M
⌀	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ		V-1S
◷	子時計	既設と同等品	SWR30-Gp

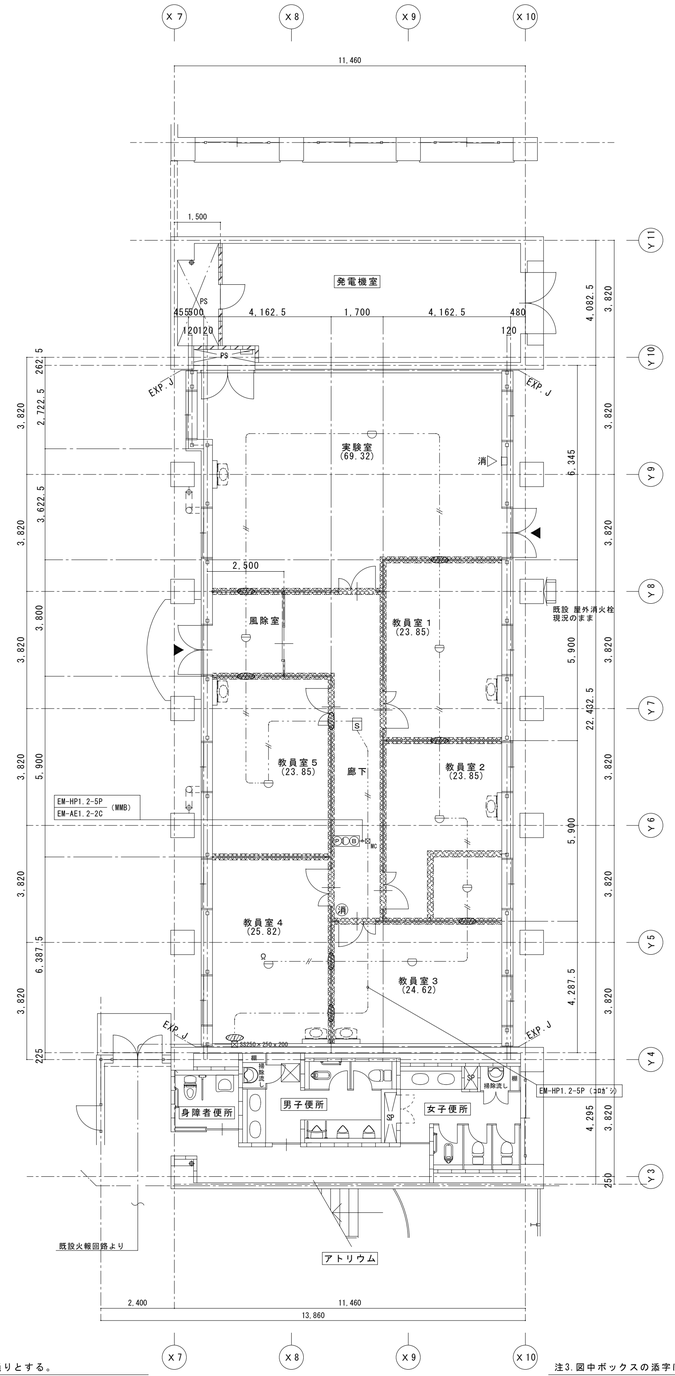
（註記）
ｽﾗｲﾄﾞｽﾗｲﾄﾞｽﾗｲﾄﾞ　ー天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
◁消　ー消火器の位置を示す（消火器ボックス組込み）
(消)　ー消火器の位置を示す（床置き）

N

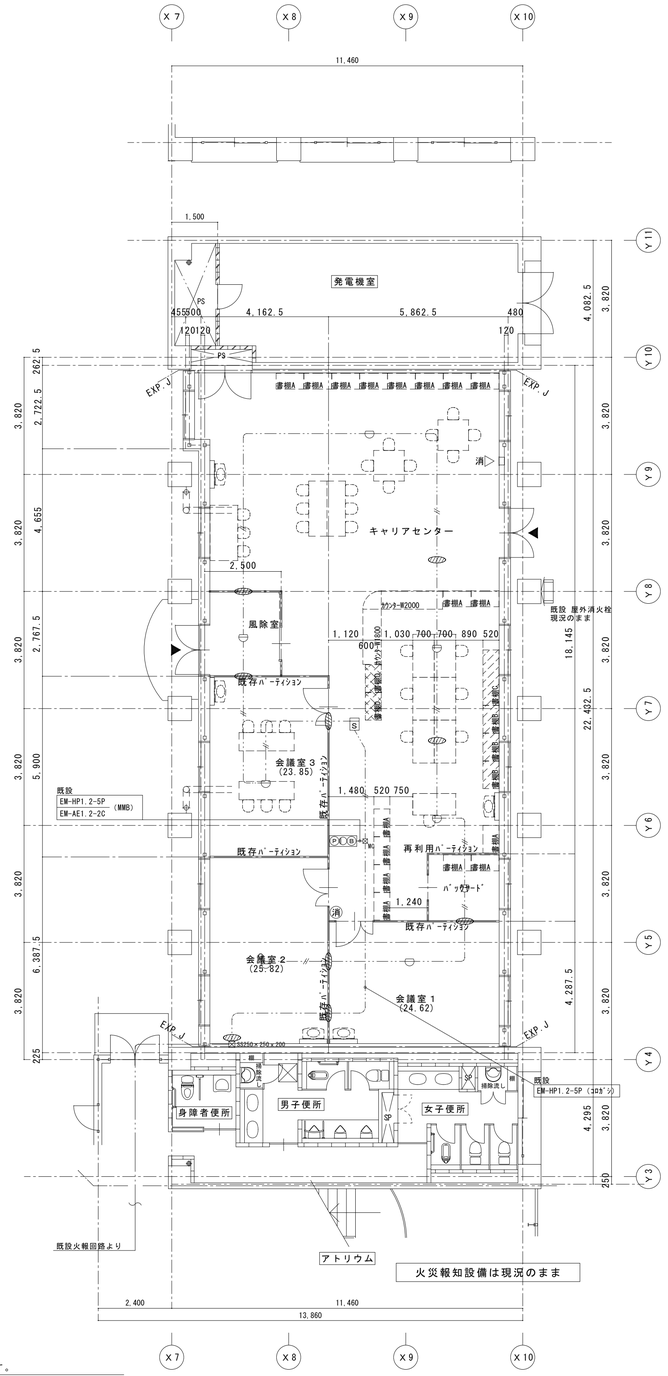
・日付 ・ ・ ・	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井　均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正宏	一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　１階 非常放送・時計設備配線図　縮尺 1/100
管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　原　監修	図面番号 Ｅ－０８		



合同棟　既存１階 平面図



改修第一期　平面図
（供用開始：Ｈ30年1月～）



改修第二期　平面図（参考図：今回工事範囲外）
（供用開始：Ｈ32年7月～）

N

注1. 指定なき配管・配線は下記の通りとする。
火　報　EM-AE1.2-2C(ｺﾛｶﾞｼ)
EM-AE1.2-4C(ｺﾛｶﾞｼ)
EM-HP1.2-2C(PF16)
EM-HP1.2-5P(PF22)
ただし、ころがし配線で壁内引下げ、ｺﾝｸﾘｰﾄ内は適合する電線管（PF管）で保護のこと。
また条線記号に添字のあるものはｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ・配管ｻｲｽﾞを添字に読みかえること。
注2. 図中ｼﾝﾎﾞﾙで ▨ は防火区画貫通処理を示す。
防火区画・防火上主要な間仕切壁の貫通は、国土交通大臣認定工法により施工すること。

注3. 図中ボックスの添字は下記を示す。
WPの添字があるものは、SUS-WPと読替えること。

⊠J プルボックス SS 150×150×100
⊠M メタルモールコンビネーションコネクター
⊠MC メタルモールコーナーボックス

⊠O アウトレットボックス 中型四角浅型 既設ケーブルと接続用

（註記）
－天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
◁消 －消火器の位置を示す（消火器ボックス組込み）
(消) －消火器の位置を示す（床置き）

・日付 ・ ・ ・	富山市安住町７番１号　電話（076）432-9785 理事長　藤井　均 管理建築士　一級建築士登録第１５２５２８号　竹林正宏	一級建築士事務所　登録（１０）３２号	工事名　県立大学　合同棟　ピロティ増築工事 図面名　１階 火災報知設備配線図　縮尺 1/100	管理技術者　一級建築士登録第261836号　酒井　武志　印 担当　原　監修	図面番号 Ｅ－０９